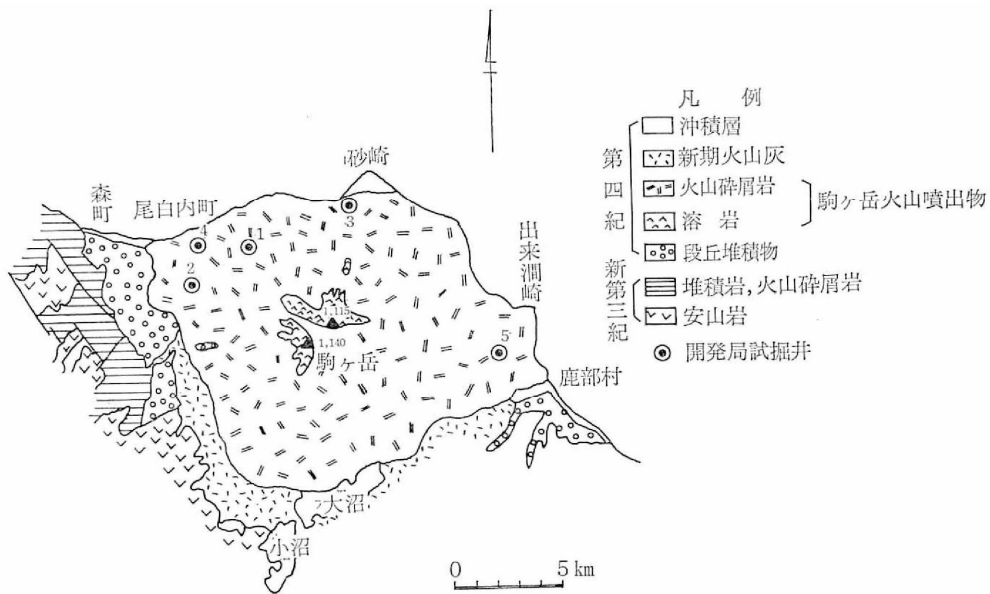


地形・地質

駒ヶ岳は道南の渡島半島にある標高 1140m の活火山です。山体はほぼ完全な円錐形をし、山体の周囲には緩傾斜の広大な裾野をもちます。地質は、山体周辺や山麓部に分布する軽石流堆積物、火砕流堆積物などの火山噴出物と、山体を構成する輝石安山岩類からなります。



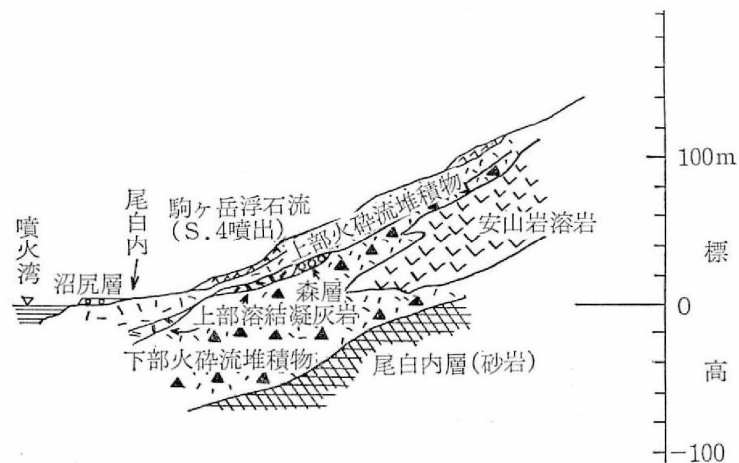
駒ヶ岳地域の地質図

地下水

深層地下水は火砕流堆積物中の下層部に存在しています。浅層地下水は、火山噴出物の表層部に宙水として存在するものが大部分で、場所によっては湧水として地表に湧出していますが、開発可能量は小さいです。

駒ヶ岳西～北麓の地層層序表

時 代	地層名 (層厚 m)	岩 質	備 考
第 四 紀	現海浜堆積物	砂	5 m 平坦面
	駒ヶ岳火山灰 浮石流堆積物 溶 岩	火山灰, 浮石 安山岩溶岩	
	沼 尻 層 5+	浮石, 砂, 礫	
	上部火砕流堆積物	浮石, 砂, 礫	
	上部溶結凝灰岩 20	安山岩質溶結凝灰岩	20 m 平坦面
	森 層 15+	砂, 礫, 浮石, 粘土	
	下部火砕流堆積物 安山岩質溶岩 55+	火山角礫岩ほか	
	段丘堆積物 2.5	砂, 礫	60 m 平坦面
	姫川火砕流堆積物 10	火山砂, 浮石 火山角礫岩	
	尾白内層 35+	砂岩, 凝灰岩	
新三 第紀	中新世 黒松内層	集塊岩 凝灰岩	



駒ヶ岳北麓の地質断面模式図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）